

小学校第6学年外国語活動 学習指導の実践

日 時 平成30年10月16日(火)

第6校時 14:30~15:15

1 単元名 「My Summer Vacation 夏休みの思い出」(We Can! 2 Unit5 - My Summer Vacation)

2 単元目標

- 過去の出来事について、積極的に尋ねたり答えたりしようとする。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 過去の出来事を表したり、尋ねたりする表現に慣れ親しむ。【外国語への慣れ親しみ】
- 日本語と英語の表現の違いに気付く。【言語や文化に関する気付き】

3 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語への慣れ親しみ	ウ 言語や文化に関する気付き
単元の評価規準	過去の出来事について、積極的に尋ねたり答えたりしようとしている。	過去の出来事を表したり、尋ねたりする表現に慣れ親しんでいる。	日本語と英語の表現の違いに気付いている。
具体的活動に即した評価規準	夏季に行った場所や楽しんだこと、食べ物、感想などを、聞いたり話したりしようとしている。	①過去の出来事を表す語彙や表現に慣れ親しんでいる。 ②過去の出来事を尋ねたり、答えたりする語彙や表現に慣れ親しんでいる。	①過去と現在の表現の違いに気付いている。 ②日本語と外来語の音の違いに気付いている。

4 指導観

(1) 単元観

児童は本単元で初めて過去を表す表現、動詞の過去形に触れた。

本単元導入以前に、現在系の I go to ~. や I eat ~. などの表現に十分触れさせておくよう配慮した。また、本単元の第1時では、夏季休業直後の児童の共通体験である日光移動教室の思い出を扱った。児童は過去を表す表現があるということを比較的スムーズに受け入れた様子であったが、“I went to Nikko.”を“I want to Nikko.”と発音するなど、音声に十分慣れ親しませる必要性がみられた。そこで、児童にとって学習内容が負担になり過ぎないように指導計画に修正した。

過去の出来事については、夏季休業中や日光移動教室など、児童にとって身近で、かつ記憶が比較的是っきりしている概ね半年以内の出来事を扱うこととした。Let's Listenなどの音声教材は、同一の構成のものを複数時に分けて聞かせるようにした。なお、2の単元目標の【学びに向かう力・人間

性等】の目標を、「他者に配慮」ではなく「相手に配慮しながら、過去のことを伝え合おうとする。」としたのは、外国語科への移行期間1年目となる今年度の第6学年児童の、学習経験を踏まえてのものであった。

また、全8時間扱いの単元を前半6時間・後半2時間に分け、前半の6時間を9月～10月に、後半の2時間を1月の現地校 第5学年児童との交流の時期に合わせ、Unit 7 - My Best Memory と関連付けて実施することとした。

(2) 児童観

毎時間の終末に、外国語活動の学習の振り返りを書いている。「○○について伝え合うことができた」「○○の表現が分かって楽しかったから、外国の人とも会話をしてみたい」など、前向きな記述をする児童が多い。意味が分かり、自らも活用できる英語表現を増やしたいという、児童の意欲が表れている。母国語以外の言語を使用する場合でも自信をもって相手と関わられるようにするために、外国語を聞いたり話したりする活動を繰り返し取り入れ、音声に十分慣れ親しめるような授業づくりをする必要があると考えた。

(3) 単元で扱う主な語彙と表現 *印は既出

○表現 I went to ~. I enjoyed ~ing. I ate ~.

It was [fun/exciting/beautiful/delicious]. *How about you?

○語彙

- ・動詞の過去形 (went, enjoyed, ate, saw, was)
- ・自然 (sea, mountain, river, lake)
- ・動作 (hiking, camping, fishing, *swimming)
- ・場所 (*前単元 (We Can! 2 Unit 4-I like my town.) で既習の語彙)
- ・飲食物 (*Hi, Friends! 1 Lesson 4-I like apples. ・同 Lesson 9-What would you like? で既習の果物や飲食物に関する語彙)
- ・状態・気持ち (fun, *good, *nice, *great, wonderful, exciting, beautiful, delicious)

5 年間指導計画における位置付け

4月～ 5月	<We Can!2>Unit 1 This is ME! <Hi, friends!2> Lesson 2 When is your birthday? Lesson 3 I can swim.	I like ~. I can ~. Can you ~. My birthday is ~. What ~ do you like? When is your birthday?
5月～ 6月	<We Can!2>Unit 2 Welcome to Japan.	Welcome to Japan. We have ~.
7月	<We Can!2>Unit 3 He is famous. She is great.	【He/She】 can ~. I eat ~. I want ~. I study ~.
8月～ 9月	<We Can!2>Unit 4 I like my town.	We 【have/don't have】 ~. I want a ~.
10月	<We Can!2>Unit 5 My summer vacation.	I went to Nikko. I enjoyed hiking. I ate ~. It was ~.

11月 ～ 12月	<We Can!2>Unit 6 What do you want to watch?	What do you want to watch? I want to watch ~.
1月	<We Can!2>Unit 7 My best Memory. <Hi, friends!2> Lesson4 Turn right. <Hi, friends!2> Lesson5 Let's go to Italy.	What's your best memory? My best memory is ~. We enjoyed ~. Let's go to ~. We study ~. Go straight. Turn (right/left).
2月	<We Can!2>Unit 8 What do you want to be? <Hi, friends!2> Lesson8 What do you want to be?	What do you want to be? I want to be ~. I study hard. That's good. Good luck.
3月	<We Can!2>Unit 9 Junior high school life.	I like ~. I want to join the ~. What club do you want to join? I want to enjoy (sports day).

6 単元の指導計画・評価規準【全8時間】

時	◆目標 ○主な学習活動	■指導者の支援 ◎評価規準 【】評価観点 []領域 <>評価方法
1	<p>◆夏に行った場所などの情報を聞き取ることができる。</p> <p>○I(We) go to school every day. / I(We) went to Nikko. の表現を繰り返し聞き、意味をとらえる。</p> <p>○I went to ~. の表現を使って、夏休みに行った場所を話す。</p>	<p>■I(We) go to school every day. / I(We) went to Nikko. の表現を繰り返し聞かせ、過去の表現と現在の表現の違いに気付かせる。</p> <p>◎I went to ~で始まる、過去に行った場所を表す表現を聞き取っている。【知識及び技能】[聞くこと]<行動観察・振り返り></p>
2	<p>◆夏に行った場所とその感想について聞いた話したりすることができる。</p> <p>○音声教材から行った場所を聞き取る。</p> <p>○HRTとALTの会話を聞き、具体的な内容を聞き取る。</p> <p>○I went to ~. It was ~. の表現を使って、教員や友達とやり取りをする。</p>	<p>■I went to Nikko. It was fun. の表現を繰り返し聞かせ、音声で慣れ親しめるようにする。</p> <p>■本時学習する表現を言葉カードで黒板に示す。このとき、児童が語順を意識することができるよう、S・V・O・Cのカードの色を変えておく。</p> <p>■It was ~. の表現を聞かせるときはジェスチャーを活用し、簡単に日本語訳を与えないようにする。</p> <p>◎I went to ~. It was ~. の表現を使って、過去に行った場所とそのときの気持ちを聞いたり言ったりしている。【知識及び技能】[聞くこと][話すこと(やり取り)]<行動観察・振り返り></p>
3	<p>◆夏に行った場所としたことについて聞いた話したりすることができる。</p> <p>○音声教材を聞き取る。</p> <p>○HRTとALTの会話を聞き、具体的な内容を聞き取る。</p> <p>○I went to ~. I enjoyed ~ing. の表現を使って、教員や友達とやり取りをする。</p>	<p>■I went to Nikko. I enjoyed hiking. の表現を繰り返し聞かせ、音声で慣れ親しめるようにする。前時に学習したIt was fun. の表現も繰り返し聞かせる。</p> <p>■本単元で学習する表現を言葉カードで黒板に示す。このとき、児童が語順を意識することができるよう、S・V・O・Cのカードの色を変えておく。</p> <p>◎I went to ~. I enjoyed ~ing. の表現を使って、過去に行った場所としたことを聞いたり言ったりしている。【知識及び技能】[聞くこと][話すこと(やり取り)]<行動観察・振り返り></p>

時	◆目標 ○主な学習活動	■指導者の支援 ◎評価規準 【】評価観点 []領域 <>評価方法
4 本 時	<p>◆夏に食べた物とその感想について聞いたり話したりすることができる。</p> <p>○音声教材を聞き取る。</p> <p>○I ate ～. It was (delicious).の表現を使って、教員や友達とやり取りをする。</p>	<p>■I ate <i>yuba</i>. It was delicious. の表現を繰り返し聞かせ、音声で慣れ親しめるようにする。</p> <p>■本単元で学習する表現を言葉カードで黒板に示す。このとき、児童が語順を意識することができるよう、S・V・O・Cのカードの色を変えておく。</p> <p>◎I ate ～. It was ～. の表現を使って、過去に行った場所と食べた物、その感想を聞いたり言ったりしている。【知識及び技能】[聞くこと][話すこと(やり取り)]<行動観察・振り返り></p>
5	<p>◆夏休み等の思い出について、友達と伝え合うことができる。</p> <p>○夏休みや連休の思い出についてのHRTやALTの話から、具体的な情報を聞き取る。</p> <p>○今年度の思い出について友達に伝えたいことを整理する。</p> <p>○友達と、今年度の思い出について伝え合う。</p>	<p>■前時までに学習したI went to Nikko. I enjoyed hiking. I ate <i>yuba</i>. It was exciting. の表現を繰り返し聞かせる。</p> <p>◎例文(登場人物の夏休みの絵日記等)を基に、夏休みや9・10月の連休等の思い出について友達と伝え合っている。【思考力、判断力、表現力等】[聞くこと][話すこと(やり取り)]<行動観察・振り返り></p>
6	<p>◆英語で書かれた夏休みの絵日記を読んだり、それを読み上げる音声を聞いたりして、イラスト等をヒントに内容を推測することができる。</p> <p>○前時までに学習したことを生かして、夏休みの思い出を聞いたり話したりする。</p> <p>○We Can! 2 P.39の絵日記を読む。</p> <p>○絵日記に対応する映像を参考に、その内容を確かめる。</p>	<p>■1単位時間の前段で過去を表す表現に音声で十分慣れ親しませた上で、絵日記を読む活動に入る。</p> <p>■絵日記の文章を和訳するのではなく、映像資料などを活用して内容を捉えられるようにする。</p> <p>◎既習の語句や表現、イラスト等を手掛かりに、登場人物の夏休みの絵日記を聞いたり読んだりしている。【思考力、判断力、表現力等】[話すこと(やり取り)][読むこと]<行動観察・振り返り></p>
7	<p>※第7時以降は3学期の●●●●●●●●●●小学校第5学年児童との交流時期に合わせ、Unit7 My Best Memoryの単元と関連付けて指導する。</p> <p>◆夏休みや2学期の学校生活、冬休み等の思い出について、友達と伝え合うことができる。</p> <p>○●●●●●●小学校第5学年児童に、自分の今年度の思い出を話す。</p> <p>○●●●●●●小学校第5学年児童の話す、今年度の思い出について聞く。</p>	<p>■学習したことを生かして伝え合う場面を設定し、児童が必要感をもってコミュニケーション活動を行えるようにする。</p> <p>◎相手に配慮しながら、冬休みまでの思い出を伝え合おうとしている。【学びに向かう力・人間性等】[聞くこと][話すこと(発表)]<行動観察・振り返り></p>
8	<p>◆夏休みや2学期の学校生活、冬休み等の思い出について、例文を参考に書くことができる。</p> <p>○例文を参考に、自分の夏休みや冬休み等の思い出について書く。</p>	<p>■We Can! 2 巻末の言葉カードや小学生向けの和英辞典などを活用して、自分の表現したいことを英語で</p> <p>◎例文(登場人物の夏休みの絵日記等)を基に、夏休みや冬休み等の思い出について簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。【思考力、判断力、表現力等】[書くこと]<ワークシート・振り返り></p>

8 本時の展開（本時4／8時間）

(1) 本時の目標

○夏に行った場所と食べた物、その感想について聞いたり話したりすることができる。

【知識及び技能】[聞くこと] [話すこと(やり取り)]

(2) 本時の展開

分	<input type="checkbox"/> 学習活動 ・予想される児童の発言	■指導者（本時はHRTのみ）の支援 ◎評価規準 <>評価方法
2	<input type="checkbox"/> Greeting 挨拶をする。	■How are you?と尋ねられたときの応答のしかたを指導する。
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> T: Hello, everyone. How are you? C: I'm fine, thank you. And you? T: I'm fine, too. Thank you. </div>	■Let's Listen 1のAoiの音声を聞かせる際には、「I enjoyed fishing. ということはfishを食べたのかな」などと発問し、本時新たに取り扱うI ate <i>obento</i> . の表現に着目できるようにする。
3	<input type="checkbox"/> Let's Listen 1(We Can! 2 P. 36) Aoi 音声を複数回聞いて、内容に合うように登場人物と絵を線で結ぶ。 <input type="checkbox"/> 本時の学習のめあてを確認する。	■児童が ate の意味をとらえられない様子のときには、写真を活用してその日の給食のことを伝えるなどし、簡単に日本語訳を与えないようにする。
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> Today's Goal 夏の思い出を聞いたり話したりしよう。その3：食事の思い出 </div>	
10	<input type="checkbox"/> Let's Play: I ate ~. の音声に慣れ親しむ。 ・授業者が話すI ate ~. の表現を繰り返し何度も聞く。 ・一人ずつ、授業者とやり取りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> T: I ate miso soup. It was delicious. How about you? C1: Rice. T: Oh, you ate rice. I ate miso soup. How about you? C2: みかん。 T: Oh, you ate an orange. Was it delicious(sweet/sour)? </div>	■I ate ~. It was (delicious). の表現を繰り返し聞かせ、音声で慣れ親しめるようにする。 ■授業者は一方的に話すのではなく、「I ate miso soup this morning. How about you? Do you like miso soup?»などと児童に問い掛け、児童同士のやり取りの活動につなげる。 ■「How about you?»に児童が「Rice.」などと単語で答えた場合は、授業者が「You ate rice.」のように補って表現を繰り返す。児童が自ら言い直した場合などは、それを認める。
23	<input type="checkbox"/> Let's Talk ・Let's Watch and Think 1(We Can! 2 P. 36) John 音声を複数回聞いて、食べた物とその感想を聞き取る。 ・I ate ~. It was (delicious). の表現を声に出して言う。 ・I ate ~. It was (delicious). の表現を使って、過去に食べた物について二人一組で話す。	■I ate ~. It was (delicious). の表現を言葉カードで黒板に示す。このとき、児童が語順を意識することができるよう、S・V・O・Cのカードの色を変えておく。 ■全体で練習するときは、いくつかの食べ物について、「自分がこの1週間で食べた物のときだけ声に出そう」と指示し、児童が自分の実体験に基づいて話せるよう配慮する。
2	<input type="checkbox"/> Closing ・学習の振り返りをする。	◎I ate ~. It was ~. の表現を使って、過去に食べた物とその感想を聞いたり言ったりしている。 <行動観察・振り返り>